

362

ある。只この岡山といふ迄者の態度が、如何にも
虚栄的でイヤな気持ちだ。殊に恰も僕同様に
叫び出されてる、パナマの人だらう、其男は、僕の命
令に~~従~~通じるものだ、他のドクターが何れも
権利が云々の、云々、つまらん又此に威勢を主
にしたのは果しい男だ。こんな迄者はどうせ数には定
つてゐる食糧の指定位で高く買ひ込んでゐるは稚氣に
満ちて面白い。

又此の食糧の掛りの男が愉快な代物だ。ちかちか
親切で世話と見てとれる、先の其の口吻に面白い又
かゝって、約十人程の病人に此男が一人で、只で食
はしてやるとでも云ふ調子が、決して故意的でなく、い
かに世話人らしく寧ろ好感が持てる。未知の多
数に接するは僕に取つては殊の外寂寞感と起させ
るのだが、敢て我慢するの外はない。

又、パナマの一年生、福神漬二罐をヤツレ
非常に喜んで、是非頂きます市谷前はと交渉の情
が見へ、僕の方が反って嬉しかった位だ。

九月十二日(木)

朝食後、向もよく布陸出身大島金三市氏(長
野縣人五十二才)は、東南角ゲートを乗り越へ、オー
バードフェンスより、更に二鉄柵を駆け上り
脱走を企て、哨兵の為に射殺された。此の
の命令数回に及んだが、其の声を耳にしおから

363

いよいよ疾走し、鉄網を駆け上つた必と二弾
を受け即死。金収容同位に異状を衝動を
つた。此の異変と聞き金同位は南に道路に
群集し、見当富に急遽増兵せし、機関
銃のカーは取られ警戒と厳しめたのは、各
らにとっては大さな異変であつた。

惨死者は数日未だ精神に異状あり、危険
性があるものといふ。ハワイには妻と多くの子
を持つ子福者で且つ或印者には有福の暮に
おる人といふ。日本家族の平々々々類に
して神経衰弱の結果 古心いたすのと謂は
れて居る。

五月十三日(水)

午前十一時。前例に従つて故大島氏の葬儀
かはらん、司式者は禪道宗の僧侶である。参列
者中多くの注目を受けたのは、パナマからの一隊中
上座を幸裸の頭の手紙をかぶり即ち下駄を
穿いたものが二、三平然として列に加はつてゐた事に、
誰れも之れには眉をひそめた事である。

午ね、金収容列兵呼を受けた。初めての事である。
昨日の不祥事によって更めて此の人員兵呼が
はんとおもはれる。

昨夜共らが収容されてゐる鉄條網内の東
北方面で何事が騒ぎが突き、それは、加